

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
令和3年(2021年)
サマーノート
発行責任:校長 石井 武

★2021夏、「壁」は未来につながるチャンス！

サマーノートを活用して、自らを高めよう！



いよいよ35日間の夏休みがスタートします。五中が全学年共通のサマーノートを活用して5年目になりますが、「自主的、主体的に行動する姿勢や目標に向かって計画的、継続的に進めていく力」を身につけていくことを目指しています。

今回は、五中図書館に配架されている『中学時代にガンばれる40の言葉』（中谷彰宏著、



PHP研究所発行）から、ぜひ五中生に意識してほしい「6つの言葉」をピックアップしました。著者の中谷さんは前書きの中で、「壁は限界を意味しながら、一方で、未来への夢を掲げる場所にもなっている。」と示されています。壁が未来につながるチャンスであることを信じ、自らを高めるための充実した夏休みにしていこう！

◆ガンバルことに、照れない。ガンバルことは、カッコいい。

「ガンバルことはみっともない」と、ガンバルことを照れてしまうことがあります。これは、どういう集団に属するかで分かります。

「ガンバルこと」「一生懸命」「努力」をほめ合える集団にいるか、「ガンバルことはみっともない」と、足を引っ張る集団にいるかです。いい学校はガンバルことがカッコいい集団です。

友だちが夢に向かってコツコツガンバっているのを見て「カッコいいな」と思う人は、ガンバルことを「カッコいい」と感じる集団にいます。「みっともないな」と思う人は、努力することを照れる集団にいるのです。どちらを選ぶかは、自分自身です。



◆トイレットペーパーを交換する人に、神様は味方する。

トイレットペーパーが自分の番で切れることがあります。自分が入った時にカラの時もあります。神様は、トイレットペーパーを交換する人を応援します。自分の時に使い切ってなくなったら、交換するチャンスです。自分で交換すると、次の人はトイレットペーパーがある状態から使えます。

自分で交換しないと、次の人が交換します。すると、神様から応援してもらえるチャンスは次の人に行きます。これはもったいないです。交換しないで出てきたら、ラッキーを逃すのです。



◆むずかしいのは、面白い。まちがったら、面白い。

むずかしい問題にぶつかった時に言うおまじないは「面白い」です。むずかしい問題に「むずかしい」と言うと、ますます解けなくなります。算数の好きな子、クイズの好きな子は、むずかしい問題に当たると「面白い」と言います。

「解けたから面白い」とか「できたから面白い」のではなく、「できないから面白い」と感じられるようになると、そのことが楽しくなってきます。大切なのは、解けるようになることではなく、楽しくなることです。



◆夢を目指している人は、実現した人よりカッコいい。

夢を実現している人は、一見カッコいいです。でも、本当にカッコいいのは、夢を目指している人です。山の頂上にいる人より、山を目指している人の方がガンバっているのと同じです。

本人としては、「自分はまだできていないのに、あの人はできている。あの人のほうがカッコよくて、自分はカッコ悪い」と思っています。これは逆です。

カッコいいのは、次に何かをしようとしている人です。一つの夢が実現したら、すぐに次の夢を実現しようとする人です。永遠に夢を目指している人のほうが、カッコいいのです。



◆「能力+信じる力」で、決まる。

夢を達成するための計算式は「能力+信じる力」です。自分に能力が足りなければ、信じる力で補えばいいのです。

能力が10点満点の人は、それで夢を達成できます。能力が2しかない人は、信じる力が8あれば、合計10になります。信じる力だけは、人に負けないようにします。「信じる力」というオマケの力が大きいのです。

はたから見ると、夢を実現している人は才能があるように見えます。その人は能力もちろんあります。実際には、それ以上に信じる力が強いのです。



◆君のガンバリを見てくれている人がいる。

「ガンバっているのに、誰も見てくれていない」と不安に思うことがあります。

勉強でも、スポーツでも、習いごとでも、家の手伝いでもこれが起こります。本当に見てくれている人は黙っているのです。一番見てほしい人は、必ず見てくれています。

親切は、人が見ていないところでします。メリットがなければ親切にしないというのは、おかしいです。気配りにしても、マナーにしても、人が見ていないところでどれだけできるかです。



